

JR小浜線鉄道遺産を守る会



11月15日、中央公園のSL機関車周辺の清掃活動に集まったJR小浜線鉄道遺産を守る会のメンバー

きらり おばま 人

蒸気機関車に水を供給するために建てられたSL給水塔。小浜駅下りホーム西端部にある給水塔を鉄道遺産として残したいと立ち上がったのが、「JR小浜線鉄道遺産を守る会」です。メンバーは、周辺住民と元国鉄職員の約三十人です。

「歴史遺産として残したいと思ったのは、れんが作りの給水塔が全国でも珍しく、非常に価値のあるものだからです。給水塔は、小浜線が開業した大正九年に建てられ、すでに約九十年

歴史ある給水塔を残したい

経っているんですよ。しかし、安全性の面から撤去する話もでてきているんです。それを聞いて何かせずにはいられないと活動を始めました」と話す同会長の柘郷三好さん(62歳・小浜竜田)。

五月に同会を結成し、六月には給水塔が貴重な鉄道遺産だということを知ってもらうため、近くの小学生などを招いて写生大会を開きました。また、九月には、体験ツアーを催し、貴重な技法で建てられた駅を見学してきたそうです。

「体験ツアーには八十人の参加があり大成功でした。しかし、活動が一過性にならないよう、月一回集まって夢の実現に向けて勉強会を開いています。また、給水塔や中央公園にあるSL機関車の周辺清掃なども行っているんですよ」

「給水塔は企業の所有のため、保存に向けた要望、また、それからの維持管理など課題はまだありますが、市民の皆さんには、まずこの会があることだけでも知っていただきたいですね。そのうち、活動の輪が広がり、いずれば市民全体で保存活動を盛り上げていけたらいいですね」と目標に向かって確実に進んでいきます。

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人(グループも歓迎)」を紹介してください。
情報課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線373

第三回 若狭おばま検定

小浜市が誇る歴史、文化、自然、食などさまざまな分野から出題される「若狭おばま検定」。検定試験は、郷土小浜への愛着と誇りを再認識する機会になることもあり、毎年多くの受験者が挑戦しています。

あなたの知らない「小浜」を知るチャンスです。皆さんの挑戦をお待ちしています。



第2回 若狭おばま検定の様子

- とき** 平成22年1月23日(土)
- ところ** 働く婦人の家
- 受験資格** 誰でも受験できます
- 検定料** 一、〇〇〇円
- 出題内容** 観光資源である歴史、文化、自然、食など小浜に関すること全般から一〇〇問出題され、「〇×」と「択一」方式の解答となります
- 合格基準** 八〇点以上
- 申込期限** 平成22年1月8日(金)
- 申し込み、問い合わせ** 若狭おばま観光協会事務局(小浜市観光交流課内)
☎53・1111 内線2688

特典

- 検定終了後、林家染二さんの落語会に無料で参加(落語会のみ参加は一、五〇〇円のチケットが必要)
- 受検者から抽選で六人に副賞を贈呈
- 合格者には、合格認定証とマイ箸を進呈
- 最高得点者には表彰状と記念品

山柳

若狭濱川柳舎

久しぶりイチゴショートが喋り出す
駅前町 藤本きぬゑ

頑固者お不動様に見えてくる
小浜飛鳥 安齊寿賀江

幸せになろうと人が暮らす音
堀屋敷 白石 恵子

短歌

口名田短歌会

高齢者パワーあふるる体育会
人人のなかひねもす過ごす
下中井 辻 信子

草刈ればキセル煙草を吸ふ父の
姿たち来る畔の斜りに
下中井 大江 青流

やはらかに野辺のコスモス揺れし日に
友は逝きたり風のごとくに
奥田縄 落合美予子

俳句

小浜市俳句作家協会

かさこそと銀杏落葉や山日和
小浜日吉 河原 白杜

注連の葉選びてをりし冬日向
上野 泉代 良子

散歩する犬の避けゆく雪の道
平野 小畑 勝彦

広告

広告

広告

広告

広告

広告